

第41期 棋王戦

予選特選譜 第2局

先 五段 山本 真也 (43歳)

全日本アマ名人

城間 春樹 (38歳)

【第4譜】 (図は▲7九角まで)



【指了図】 (図は○7六歩まで)



消費時間 2時間4分
指し手72手
持ち時間 各4時間

一歩 開演 ○ 山本 なし

一歩 開演 ○ 山本 歩

- 同 桂1 ○7四歩
- 同 銀 ○7五歩1
- ▲6六飛1 ○3三角
- ▲6九飛5 ○8四飛
- ▲6三銀成 ○8三飛4
- ▲7三歩2 ○7六歩8

三段時代

関西将棋会館の3階控室は、この日もにぎやか。といても、研究会を行っている棋士や奨励会員で満室なので、人はたくさんいるが将棋を指しているの静かである。

とがあるという。「三段時を失いかけていた。代、最後に指した将棋が城間さんとの対戦でした」加藤昌彦指導棋士六段は一時、東京に住んでいたことがあり、城間アマの奨励会三段時代をよく知っている。「城間さんは、常に昇段争いに加わっていた。強駒をさばかせることになった。三段という印象がありました。」と教えてくれた。

山本は図の局面の前あたりから意気消沈。「次にこちらの手番でも有効な手がない。○3三金寄く○2四歩と突かれていたら半泣きでしょう。終盤で○2五歩から玉頭攻めをされるのが目に見えている」と、闘志

(野間俊克)

H 1 5 年 5 月 1 5 日 掲 載